

平成30年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

女性ならではの視点を生かした経営戦略で多肉植物を一躍人気商品へ

○氏名又は名称 株式会社カクト・ロコ（代表 野末 信子）

○所在地 静岡県浜松市

○出品財 経営（多肉植物）

○受賞理由

・地域の概要

浜松市は静岡県西部に位置し、平野部は国内の主要な交通網が集中し、製造業が盛ん。農業に関しては、みかん等の果樹、畜産、洋菜類、キク、ガーベラ等の花き類、茶等、県内有数の産地が形成されており、農業産出額は全国第7位の533億円。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

従来は果樹、稲作及び肥育牛の複合経営から、平成元年にサボテン専作に経営を転換。平成16年に「株式会社カクト・ロコ」として法人化し、代表取締役役に野末氏が就任し、栽培の中心を多肉植物に移行。現在の栽培品目は、多肉植物・サボテン約500種。施設面積は4.4ha。従事者数は107名、うち女性93名。

・受賞者の特色

（1）多肉植物の安定生産技術の確立

多肉植物の管理方法が未確立だった設立当時から試行錯誤を重ね、品種ごとに最適な水・光の管理方法や多肉植物独特の色が鮮やかに出る培養土の配合を研究することにより、安定生産技術を確立。特に土づくりにこだわり、地元産の堆肥等を用いた培養土は、夏の過湿に強い等、販売店・消費者から高評価を得ている。

（2）すべての人が働きやすい職場づくり

同社では、柔軟な勤務形態・休暇制度の整備、施設・環境整備による生産現場・集出荷場の負担軽減・効率化、QRコードを活用した販売職員の商品説明の負担軽減等、すべての人が働きやすい職場づくりを心掛けている。また、生産、販売等の4部門全ての責任者に女性を登用し、障がい者、高齢者についても積極的に雇用。

（3）社長をはじめとする女性リーダーが市場拡大に貢献

同社は、当初は知名度が低かった多肉植物に着目し、社長自らが生産者から営業マンへと転身し、全国各地の売り場に立って商品の楽しみ方を直接伝えるPR活動を展開し、全国の約8割のホームセンターへの販売ルートを確立するとともに市場を拡大。

また、各部門の責任者が細やかに連携して業務を効率化するとともに、若手職員の感性を生かした商品開発により販売力が向上し、大手生花店からの受注も実現。

結果として、13期連続で黒字を達成。

・普及性と今後の発展方向

野末氏は、地域全体を元気にしたいとの思いから、農業経験が浅い女性のためのセミナーでの講師や、地域おこし団体の代表を務める等、地域全体の活性化に貢献。今後も、障がい者の雇用に力を入れ、将来的には土づくり部門を分社化して彼らに作業を任せていく予定。

※ 当該受賞者は、「女性の活躍」において内閣総理大臣賞を受賞